

造影 MRI 検査同意書（病院控）

検査予定日 年 月 日 () 時 分より

頭部 胸部 腹部 下肢静脈 大動脈 心臓 その他 () の検査をします。

検査前 5 時間は食事をしないでください。飲水・服薬はかまいません。

食事・飲水・服薬はかまいません。

患者 ID 氏名 様

性別 年齢 身長 (cm) 体重 (kg)

検査を受けるに際し必ず別紙の注意事項を読み、以下の質問にお答えください。

	いいえ	はい
1. 薬のアレルギーはありますか？		
2. 気管支喘息はありますか？		
3. (女性のみ) 妊娠中または授乳中ですか？		
4. 腎機能 eGFR は $30 \geq$ である		
5. 造影剤の副作用について理解されましたか？	はい・いいえ	

造影検査で副作用を生じる可能性が高いといえます。副作用について十分に理解されたうえで、担当医と検査の可否を相談してください。

- **腎機能の確認：検査当日** クレアチニン値 () eGFR ()
※eGFR30 以下の場合にはリスクが高いため造影検査を行わないことがあります
- 状態により主治医の判断で造影剤を使用しない単純 MRI 検査や検査を中断・中止する場合があります。

説明日 年 月 日 説明者： 医師 ()

説明文書の交付を受けて説明を受けました。実施に必要な処置と造影検査を受けること、実施中に緊急処置を行う必要が生じた場合には、適宜処置されることについても併せて

同意します (同意された後もいつでも撤回することは可能です)

同意しません (検査しないことによる不利益に関して、主治医・病院の責任を問いません)

記入日： 年 月 日

本人氏名： ()

親族または代理者氏名： ()

(本人との関係： 父母、配偶者、子、兄弟姉妹、保護義務者、法的代理人、その他_____)

造影 MRI 検査同意書（患者控）

検査予定日 年 月 日 () 時 分より

頭部 胸部 腹部 下肢静脈 大動脈 心臓 その他 () の検査をします。

検査前 5 時間は食事をしないでください。飲水・服薬はかまいません。

食事・飲水・服薬はかまいません。

患者 ID 氏名 様

性別 年齢 身長 (cm) 体重 (kg)

検査を受けるに際し必ず別紙の注意事項を読み、以下の質問にお答えください。

	いいえ	はい
1. 薬のアレルギーはありますか？		
2. 気管支喘息はありますか？		
3. (女性のみ) 妊娠中または授乳中ですか？		
4. 腎機能 eGFR は $30 \geq$ である		
5. 造影剤の副作用について理解されましたか？	はい	いいえ

造影検査で副作用を生じる可能性が高いといえます。副作用について十分に理解されたうえで、担当医と検査の可否を相談してください。

- **腎機能の確認：検査当日** クレアチニン値 () eGFR ()
※eGFR30 以下の場合にはリスクが高いため造影検査を行わないことがあります
- 状態により主治医の判断で造影剤を使用しない単純 MRI 検査や検査を中断・中止する場合があります。

説明日 年 月 日 説明者： 医師 ()

説明文書の交付を受けて説明を受けました。実施に必要な処置と造影検査を受けること、実施中に緊急処置を行う必要が生じた場合には、適宜処置されることについても併せて

同意します (同意された後もいつでも撤回することは可能です)

同意しません (検査しないことによる不利益に関して、主治医・病院の責任を問いません)

記入日： 年 月 日

本人氏名： ()

親族または代理者氏名： ()

(本人との関係： 父母、配偶者、子、兄弟姉妹、保護義務者、法的代理人、その他_____)

MRI 検査を受けられる方へ

MRI 検査とは？

MRI (Magnetic Resonance Imaging) 検査とは、強い磁石と電磁波を使って体内の断面像を撮影する検査です。検査中は工事現場のような“ドンドン”、“バンバン”といった大きい音が発生いたします。

注意点

検査室内には金属製品や電子機器を持ち込まないでください。体内に“ペースメーカーなどの金属や電子機器が入っている方”は原則として検査できませんので必ず主治医または検査担当者に申し出てください。狭い所が苦手な方（閉所恐怖症）も申し出てください。

補聴器、装飾品、腕時計、車の鍵、エレキバン、貼り薬、ホッカイロ、磁気カード類、アイライナーや、入れ歯などにもご注意ください。検査日はなるべく薄化粧で、装飾品が少なめの服装でお越しください。

検査の手順

- 1) 検査室外で身につけている金属類をすべて取り外し、検査室内に入り寝台に仰向けになります。検査時間は、15～60分間（検査内容により異なります）で、検査中はいろいろな音がします。
- 2) 予定時間通り検査を行うように努力しておりますが、個々の検査ごとに検査内容が異なり、あらかじめお知らせしてある時間と実際の検査開始時間が多少ずれることがあります。ご了承下さい。

造影剤を用いる MRI 検査を受けられる方へ

造影剤を用いることにより、あなたの病気の状態をより正確に明らかにし今後の治療に役立てます。安全なお薬ですが、まれに副作用が起こることもあります。副作用の種類は次のようなものです。

- 1) 軽い副作用（1%）：吐き気・動悸・頭痛・かゆみ・発疹などで、基本的に治療を要しません。
- 2) 重い副作用（0.05%）：呼吸困難・意識障害・血圧低下などです。このような副作用は、通常は治療が必要で、後遺症がのこる可能性があります。そのため入院が必要なこともあります。医師が速やかな処置行えば大事に至ることは殆りありません。
- 3) まれに、数時間以上経過してから、症状が出現する場合がありますので、帰宅後、体調がいつもと異なる場合は病院に連絡して下さい。（24時間対応しております。）

なお、勢いよく造影剤を注入する場合には、血管外に造影剤がもれることがあります。この場合には、注射部位がはれて、痛みが伴うこともあります。基本的には時間がたてば、吸収されますので心配ありません。

※ 腹部（胆嚢・膵臓）検査の場合、検査前5時間は食事をしないでください。ただし、乳製品以外の飲水は検査予約時間の2時間前まではかまいません。糖尿病治療薬などは医師の指示により休薬する場合がありますので事前に申し出てください。分からないことがありましたら遠慮なくご質問ください。



日本放射線技師会 MRI 検査説明動画